

[ 条例施行規則64条関係 (500 t 以上1000 t 未満排出事業者用) ]

(様式第33号) (第64条関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画書

2023 年 6 月 6 日

(宛先) 長野市長 萩原 健司 様

提出者

住 所 長野県長野市三輪2-1-8

氏 名 株式会社トーエネック長野支店

執行役員 長野支店長 佐藤 英樹

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 026-241-1111

産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画について、長野市廃棄物の適正な処理の確保に関する条例第79条第1項の規定により提出します。

事業場の名称	株式会社トーエネック長野支店
事業場の所在地	長野県長野市三輪2-1-8
計画期間	2023年4月1日～2024年3月31日

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

① 事業の種類	08 設備工事業
② 事業の規模	2022年度 売上高 23,646 (百万円)
③ 従業員数	600名
④ 産業廃棄物の一連の処理工程	「別紙2」のとおり

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)  
「別紙2」のとおり

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和4年度）実績】						
	産業廃棄物の種類	がれき類(コンクリがら、廃アス)	ガラス・コンクリート・陶磁器く	廃プラスチック(廃タイヤ、発泡)	金属くず	紙くず	木くず
	排出量	329.14t	24.81t	51.19t	161.63t	4.83t	51.70t
	産業廃棄物の種類	建設混合廃棄物(安定型、管理)	廃油	汚泥(上・下水、建設、その他)	廃電気機械器具		
	排出量	22.83t	0.03t		0.35t		
(これまでに実施した取組) ①撤去工事等の「陶磁器類・金属類」は再使用判定を行い、廃棄物の発生抑制に努めている。 ②廃棄物は種類毎に分別管理を行い、全量処理委託している。							
②計画	【目標】						
	産業廃棄物の種類	がれき類(コンクリがら、廃アス)	ガラス・コンクリート・陶磁器く	廃プラスチック(廃タイヤ、発泡)	金属くず	紙くず	木くず
	排出量	382.31t	28.82t	59.46t	187.74t	5.60t	60.05t
	産業廃棄物の種類	建設混合廃棄物(安定型、管理)	廃油	汚泥(上・下水、建設、その他)	廃電気機械器具		
	排出量	26.52t	0.04t		0.41t		
(今後実施する予定の取組) ①撤去工事等の「陶磁器類・金属類」は再使用判定を行い、廃棄物の発生抑制に努める。 ②廃棄物排出量の減量は困難であるため、分別を徹底し最終処分の減量化に努める。							

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) がれき類(コンクリがら・アスファルトがら)、金属くず、陶磁器くず、木くず等は可能な限り分別して排出し、委託処理業者により処理を行い燃料や路盤材等に再利用している。
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 混合廃棄物について、可能な限り分別し排出する。

## 自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（令和4年度）実績】						
	産業廃棄物の種類	がれき類(コンクリがら、廃アス	ガラス・コンクリート・陶磁器く	廃プラスチック(廃タイヤ、発泡	金属くず	紙くず	木くず
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量						
	産業廃棄物の種類	建設混合廃棄物(安定型、管理	廃油	汚泥(上・下水、建設、その他)	廃電気機械器具		
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量						
(これまでに実施した取組) 該当なし							
②計画	【目標】						
	産業廃棄物の種類	がれき類(コンクリがら、廃アス	ガラス・コンクリート・陶磁器く	廃プラスチック(廃タイヤ、発泡	金属くず	紙くず	木くず
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量						
	産業廃棄物の種類	建設混合廃棄物(安定型、管理	廃油	汚泥(上・下水、建設、その他)	廃電気機械器具		
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量						
(今後実施する予定の取組) 今後実施する予定はない							

## 自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（令和4年度）実績】						
	産業廃棄物の種類	がれき類(コンクリがら、廃アス	ガラス・コンクリート・陶磁器く	廃プラスチック(廃タイヤ、発泡	金属くず	紙くず	木くず
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量						
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量						
	産業廃棄物の種類	建設混合廃棄物(安定型、管理	廃油	汚泥(上・下水、建設、その他)	廃電気機械器具		
自ら熱回収を行った産業廃棄物の量							
自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量							
(これまでに実施した取組) 該当なし							
②計画	【目標】						
	産業廃棄物の種類	がれき類(コンクリがら、廃アス	ガラス・コンクリート・陶磁器く	廃プラスチック(廃タイヤ、発泡	金属くず	紙くず	木くず
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量						
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量						
	産業廃棄物の種類	建設混合廃棄物(安定型、管理	廃油	汚泥(上・下水、建設、その他)	廃電気機械器具		
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量							
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量							
(今後実施する予定の取組) 今後実施する予定はない							

## 自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

【前年度（令和4年度）実績】		がれき類(コンクリがら、廃アスファルト)	ガラス・コンクリート・陶磁器くず	廃プラスチック(廃タイヤ、発泡スチロール等)	金属くず	紙くず	木くず
①現状	産業廃棄物の種類						
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量						
	産業廃棄物の種類	建設混合廃棄物(安定型、管理型)	廃油	汚泥(上・下水、建設、その他)	廃電気機械器具		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量						
	(これまでに実施した取組) 該当なし						
【目標】		がれき類(コンクリがら、廃アスファルト)	ガラス・コンクリート・陶磁器くず	廃プラスチック(廃タイヤ、発泡スチロール等)	金属くず	紙くず	木くず
②計画	産業廃棄物の種類						
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量						
	産業廃棄物の種類	建設混合廃棄物(安定型、管理型)	廃油	汚泥(上・下水、建設、その他)	廃電気機械器具		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量						
	(今後実施する予定の取組) 今後実施する予定はない						

## 産業廃棄物の処理の委託に関する事項

【前年度（令和4年度）実績】		がれき類(コンクリがら、廃アスファルト)	ガラス・コンクリート・陶磁器くず	廃プラスチック(廃タイヤ、発泡スチロール等)	金属くず	紙くず	木くず
①現状	全処理委託量	329.14t	24.81t	51.19t	161.63t	4.83t	51.70t
	優良認定処理業者への処理委託量	27.08t	23.81t	51.19t	161.63t	4.83t	51.70t
	再生利用業者への処理委託量	329.14t	9.18t	20.48t	161.63t	0.72t	32.05t
	認定熱回収業者への処理委託量						
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者へ処理委託量						
	産業廃棄物の種類	建設混合廃棄物(安定型、管理型)	廃油	汚泥(上・下水、建設、その他)	廃電気機械器具		
	全処理委託量	22.83t	0.03t		0.35t		
	優良認定処理業者への処理委託量	22.54t			0.35t		
	再生利用業者への処理委託量	3.43t			0.10t		
	認定熱回収業者への処理委託量						
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者へ処理委託量						
(これまでに実施した取組) 産業廃棄物は、全量処理委託している。 再生利用可能物の原料・燃料・路盤材等に再利用する委託をしている。							

②計画	<b>【目標】</b>						
	産業廃棄物の種類	がれき類(コンクリがら、廃アスファルト、レンガ)	ガラス・コンクリート・陶磁器くず(石膏ボード)	廃プラスチック(廃タイヤ、発泡スチロール等)	金属くず	紙くず	木くず
	全処理委託量	382.31t	28.82t	59.46t	187.74t	5.60t	60.05t
	優良認定処理業者への処理委託量	31.46t	27.65t	59.46t	187.74t	5.60t	60.05t
	再生利用業者への処理委託量	382.31t	10.66t	23.78t	187.74t	0.84t	37.23t
	認定熱回収業者への処理委託量						
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者へ処理委託量						
	産業廃棄物の種類	建設混合廃棄物(安定型、管理型)	廃油	汚泥(上・下水、建設、その他)	廃電気機械器具		
	全処理委託量	26.52t	0.04t		0.41t		
	優良認定処理業者への処理委託量	26.18t			0.41t		
	再生利用業者への処理委託量	3.98t			0.12t		
	認定熱回収業者への処理委託量						
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者へ処理委託量						
	(今後実施する予定の取組)						
	現状どおり分別を徹底し、再利用する委託を行う。						
	※事務処理欄						

(第6面)

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が500トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
  - (1) ①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
  - (2) ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
  - (3) ④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が12以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。  
また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「—」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

別紙 1

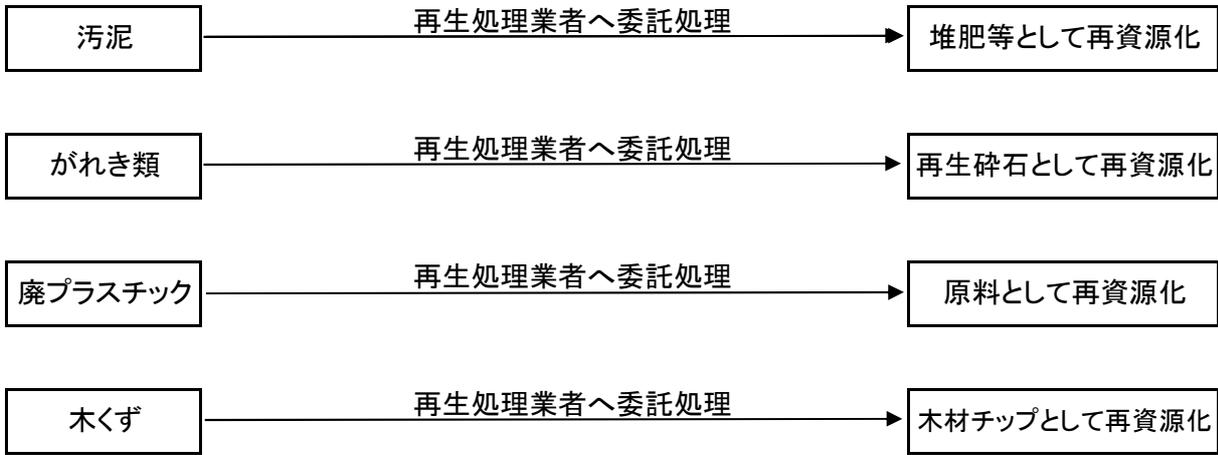
産業廃棄物処理計画書（産業廃棄物の実績及び計画の量）

処 理 事 項		産 業 廃 棄 物 の 種 類												
		がれき類 (コンクリが ら、廃アス ファルト)	ガラス・コ ンクリート・ 陶磁器くず (石膏が)	廃プラス チック(廃タ イヤ、発泡 スチロール)	金属くず	紙くず	木くず	建設混合 廃棄物(安 定型、管理 型)	廃油	汚泥(上・ 下水、建 設、その 他)	廃電気機 械器具			合 計
排出抑制に関する事項	前年度排出量(実績)	329.14t	24.81t	51.19t	161.63t	4.83t	51.70t	22.83t	0.03t		0.35t			646.51t
	本年度排出量(計画)	382.31t	28.82t	59.46t	187.74t	5.60t	60.05t	26.52t	0.04t		0.41t			750.95t
自ら行う(行った) 再生利用に関する事項	前年度実績													
	本年度計画(目標)													
自ら行う(行った) 中間処理 に関する 事項	自ら行う (行った) 熱回収の量	前年度実績												
		本年度計画(目標)												
	自ら中間処理 により減量 する(した)量	前年度実績												
		本年度計画(目標)												
自ら行う(行った)埋立処 分又は海洋投入 処分に関する事項	前年度実績													
	本年度計画(目標)													
処理の委託に 関する事項	全処理委託量	前年度実績	329.14t	24.81t	51.19t	161.63t	4.83t	51.70t	22.83t	0.03t		0.35t		646.51t
		本年度計画(目標)	382.31t	28.82t	59.46t	187.74t	5.60t	60.05t	26.52t	0.04t		0.41t		750.95t
	優良認定処理業者 への処理委託量	前年度実績	27.08t	23.81t	51.19t	161.63t	4.83t	51.70t	22.54t			0.35t		343.13t
		本年度計画(目標)	31.46t	27.65t	59.46t	187.74t	5.60t	60.05t	26.18t			0.41t		398.56t
	再生利用業者への 処理委託量	前年度実績	329.14t	9.18t	20.48t	161.63t	0.72t	32.05t	3.43t			0.10t		556.73t
		本年度計画(目標)	382.31t	10.66t	23.78t	187.74t	0.84t	37.23t	3.98t			0.12t		646.67t
	認定熱回収業者へ の処理委託量	前年度実績												
		本年度計画(目標)												
	認定熱回収業者以外 の熱回収を行う業者 への処理委託量	前年度実績												
		本年度計画(目標)												

【記載方法】

- 各産業廃棄物の種類ごとに該当の箇所の上段に前年度の実績（現状）を、下段に本年度の目標（計画）の産業廃棄物の量を記載してください。
- 「自ら行う再生利用に関する事項」の欄は、自ら直接再生利用した量と中間処理した後再生利用した量を記載してください。
- 「自ら行う埋立処分又は海洋投入処分に関する事項」は、自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量と自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量を記載してください。
- 「処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量及びそれぞれの内訳を記載してください。

(第1面)④産業廃棄物の一連の処理の工程



(第2面)管理体制図

